

こころの便り

第215号

平成30年2月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハート
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kiminami@shingu.co.jp
電話 0791-755-1212

嫌な思い

大雪や寒波で、この冬はたくさんトラックが影響を受けました。おかげさまで事故はありませんでした。一日雪の通行止めで延着したトラックが何台も出てお客様にも迷惑をおかけしました。当然ドライバーは、ずっとトラックの中で大変だったことだと思います。政府の「働き方改革」で、労働時間短縮といわれても、自然の影響だけは避けることができません。とはいえ、雪の道路で対処しなくてはならないのは、現場のドライバーなので。私もたった一人で、山の中で、凍える手でチェーンを巻いた記憶があります。辛い思いは、経験した人でないとわかりません。

便利な世の中になって予測がつくわけだから、事前に走らないようにすればいいではないかという人もいます。考えてみてください。地震や津波の災害の時、いち早く生活物資を届けるのはトラックなのです。走れない道路を何とかぐり抜けて、物を運ぶ手段は唯一、トラックしかありません。雪になると、JR貨物の列車は走れなくなり、安全な駅に停めて運行中止となります。当然、飛行機も船も輸送の手段としては使えなくなるのです。大変な時にトラックには助けてほしい、しかし、4時間運転したら30分休みなさい。休まなければ、罰則です。労働時間は8時間を越え

てはいけません。長時間労働を無くすためです。雪の道を安全に走るために、早めに出発すると長時間労働になる。ギリギリの間に合う時間を出発して、イライラしながら運転する。事故を起こしたら、運転していたドライバーの責任です。

こんな条件の職場に憧れて、仕事をしてみたいという若者が次々にやってくるでしょうか。もちろん、極論ではあります。お互い本業の仕事を通じて世の中を良くするように貢献していかなくてはならないのです。

「働き方改革」を曲解して、遵守することばかりを主張する、あるいは守らせるために罰則を厳しくすると世の中は悪くなる方向へと向かいます。そうではなく、労働時間を短くして、効率のいい仕事を新しい時代に向けて生み出していく機会にしないでほしいです。嫌な思いは、すぐに伝播します。だからこそ、譲りあい、思いやりのある世の中を、仕事を通じて生み出していかねばならないのです。会社はそのためにあるといってもいいはず。自社の利益、自分の都合だけを追い求めるのではなく、嫌な思いを広げないように、自分が譲る、譲ってもらったら「ありがとう」という行動をまず実行する。始まりはここからなのです。立派な国にしていましょ。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。

尋常小學校修身書 卷五 兒童用

第六課 公益

古橋源六郎は三河の稲橋村の人で、家は代々酒造を業としてゐました。我が國に始めて市制・町村制が實施された時、村長に選舉されました。



後に稲橋村が武節村と組合になつてからも組合長に選舉され、死ぬまで引きつづいて、この職をつとめ、公益のために力を盡しました。源六郎は三河の土地が馬を飼ふに適してゐることを知つて、奥羽産や外國産の良い馬を數十頭飼ひ、馬の改良をはかりました。ところが、「改良馬は大きいばかりで、女や子供が使ふにも困るし、其の上のろくて役に立たない。」と悪口を言ひふらす者がありました。しかし源六郎は馬の市場を開きながら、改良馬が大きくて力も強い上におとなしくて、使ひやすいことを世間に知らせたので、悪口を言ふ者がなくなりました。其の後、組合をつつてだん／＼事業をひろげて行くうちに、一時に馬のねだんが下つて大損をしました。源六郎は長い間、晝夜苦心してその回復をはかつたので、とう／＼損をとりかへすことが出来ました。三河に良い馬をたくさん産するやうになつたのは源六郎の力であり、

(つづく)